

中3学力テストA・B・C対策始まる！

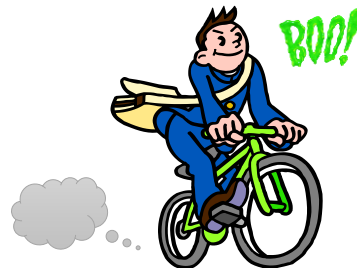
今年度の入試まで、あと190日を切りました。自習室も満員御礼で、受験生の熱気を肌を感じる季節となって参りました。そんな最中、いよいよ学力テスト対策が始まり、ニスコでは恒例の入試対策教材『ウィニングフィニッシュ』が届きました。昨年度から更に改訂され、近年の北海道公立高校入試の傾向に即した、素晴らしい仕上がりとなっております。この教材を約3カ月で隅から隅まで演習していただければ、中1・2年生分野の苦手単元や、穴になっている単元を一気に復習することが可能です。同時に分厚い教材に対して、臆することなく立ち向かえるようになるので、受験本番で負けない心を鍛えることも可能な教材となっております。この4月の時点から考えると、答案の質・モチベーションともにこの夏を経て、かなり上がってきているように感じます。今後も良い面は継続し、中3生全員合格を目指して、講師一同全力でサポート・指導して参ります。



2学期期末試験対策は今月末から開始！

2学期期末試験のスケジュールに関してですが、平岡緑中及び平岡中央中の定期試験対策は9/30(土)から開始いたします。ただ、上野幌中生は定期試験に1カ月のずれがあるため、10月からの通塾日を平岡緑中生は火曜・木曜に、上野幌中生は水曜・金曜に通塾日を変更予定です。詳細は確定次第、お知らせいたします。

2学期は各学年・各教科で重要単元が多く、入試にも頻出する単元が多いため、塾業界では『勝負の2学期』と呼ばれています。今年度の中点の2/3を決める大きな試験になるので、こちらも全力でサポートして参ります。9月期は比較的穏やかな月なので、今のうちに塾でやった既習単元で、次の定期試験に出題される箇所の学校ワークを進めておきましょう！今のうちに未来への自分の投資を始めてください！



小学部各種イベント講座 毎月実施します！！

秋期～冬期にかけて、小学部で毎月イベントを実施いたします。その第1弾として、

KANJI WARS —EPISODE.1 漢ジェダイの帰還—

を実施いたします。突っ込みどころ満載ですが、なんと今回は保護者様と一緒に参加可能のイベントとなっております。少しでも漢字に興味を持ってもらうためのイベントです。内容に関しては、別紙チラシを参照ください。

10月には『洞察力検定』を実施予定です。昨年参加されたことがある方は、ご存知かと思いますが、簡単に説明するならば「如何に空気読めますか？」という趣旨で、これを文章を読んで答えてもらうというイベントとなっております。こちらも乞うご期待ください。なかなか勉強に対して前向きになれない生徒でも、「勉強って楽しい」と思っていたくきっかけになればと考えております。お友達を誘っての参加も可能ですので、是非友人を誘って参加・挑戦してみてください。

— あとがき —

風の谷のナウシカや「となりのトトロ」などのアニメ映画で有名な宮崎駿さんのことは、皆さんも知っていると思います。宮崎さんは「風立ちぬ」を作った後、引退を発表しましたが、その後撤回。本当の引退作として「君たちはどう生きるか」を最近発表しましたね。

それはさておき、そんな宮崎監督が実写映画を作っていたことを、みんなはご存知でしょうか。映画の名前は「柳川掘割物語」(1987年)といいます。『火垂るの墓』や『おもひでぽろぽろ』の高畑勲さんが監督をつとめ、宮崎さんは製作責任者として関わりました。柳川掘割物語は一人の男の信念の物語です。今から約40年ほど前の日本が高度成長期に、福岡県の柳川市で水路(掘割)の埋め立て問題が起こりました。水質汚染や不法投棄で水路がゴミだらけになって悪臭を放ち、大量の蚊が発生していました。そのため住民からこんな水路はいらないから埋め立ててしまおうという声があつたのです。大勢の人がそれに賛成しました。悪臭の元がなくなって、水路が道路になれば、住民の生活も便利になります。しかし、それに反対したのが、広松さんという市役所の係長でした。昔から柳川の人は町中に水路をめぐらし、そこに川の水や雨水を流すことで、農業用水や生活用水として利用してきました。少ない水を大切に使い、自然と共存してきたのです。しかし、高度成長と共に人々は忙しくなり、水路とのつきあいを忘れ、川や水路を守るという手間を怠ってしまったのです。係長の広松さんは、水路の埋め立てに反対し、市長に直訴しました。そして住民の協力が必要だと考え、水路の大切さを町内会で訴えました。その回数はなんと2年間で100回以上です。さらに、自らが先頭にたって、ドブ川となった水路を掃除したのです。その真剣な姿を見た住民も次第に協力し始め、一緒に水路を掃除するようになり、ゴミも捨てなくなりました。水路は少しずつ昔の美しい姿を取り戻し、人々は再び水路と共に生きることになったのです。そして、埋め立て計画は中止されたのです。

たとえ大勢の人に反対されたとしても、自分の強い信念に基づくものであれば、広松さんのようにそれを貫くのも大切な生き方です。もちろんそのためには、周囲の人を説得するための深い思慮や熱意、行動力が必要です。

なぜこんな話をあとがきに？と思われたかと思いますが、この「信念」こそが、ここから先の後半期には必要不可欠だと信じているからです。どの学年の生徒も新しい学年・クラス・部活・習い事・塾などに「慣れ」が生まれ、「油断」が生まれます。それ自体を悪いとは言いませんが、今一度、胸の中にあるであろう「信念」を忘れないでほしいと願っています。特に受験生は「この高校に行きたい」という強い「信念」が合格を手繰り寄せるカギとなるでしょう。

我々の「信念」は「生徒を笑顔にすること」です。様々な試練があるかもしれませんが、生徒とともに乗り越え、最高の「思い出」を一緒に手に入れたいと思います。長文ではありましたが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。